

2020年度の事業報告書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

認定特定非営利活動法人 京都 DARC

1 事業の成果

2020年度は、2019年度に引き続き「障害者総合支援法」に基づく障害福祉サービス事業所として、指定共同生活援助（介護サービス包括型）をネクサス 1,2 にて、自立訓練（生活訓練）事業をデイセンター・マハロにて行った。ネクサス 1 は 2020 年 9 月に新しく建設した入寮施設に移行し、定員 10 名となった。2021 年 3 月末の入寮者は 13 名、デイセンター・マハロへの通所登録者は 17 名であった。

デイセンター・マハロの回復プログラムとして、農作業等様々な事業を行った。農作業は、以前からお世話になっている亀岡市の農家の方の畑や田での野菜や米作り 5 回、綴喜郡井手町の畑をお借りしてニンニクと玉ねぎの栽培を 17 回行った。ボランティア活動は、喫茶店等でのボランティアを 6 回、さらに 9 月からは週一回ネクサス 1 近くの公園・道路の掃除ボランティアを行った。また、新型コロナウイルス感染予防のため京都 DARC フォーラムや地域の祭りが中止となったが、向島の元気バザールの参加や東九条掃除ボランティア並びにセカンドハーベストの食料品配達のお手伝いを通して、地域の方との交流を深めた。

倉田翠氏（演出家・ダンサー）が主宰する集団 akakilike とダルクのメンバーとの共演により、12 月 26,27 日に埼玉県富士見市で、1 月 8,9 日に京都市東九条で、ダルクの日常を再現する舞台「眠るのがもったいないくらいに 楽しいことをたくさん持って、夏の海がキラキラ輝くように、緑の庭に光あふれるように、永遠に続く気が狂いそうな 晴天のように」を上演した。

薬物依存症者及びその家族への相談援助事業は薬物依存症者 46 件、薬物依存症者の家族 35 件、関係者 15 件の電話相談や来所面談等を行った。家族カウンセリングは 43 件であった。家族プログラムは 10 回行い、参加者の平均は 7.5 名であった。

今年度も京都府薬務課との共同事業を行った。薬物依存症の電話相談「きょう - 薬物をやめたい人 - のホットライン（薬物依存ホットライン）」（京都 DARC 内に設置と広報している）では、16 件の電話相談があった。京都府薬物依存者に対する移動相談事業として国立病院機構舞鶴医療センターで毎月一回行っているメッセージ・ミーティングには、薬物依存症者・関係機関職員等平均 3.8 名の参加があった。「若年者向け薬物再乱用防止プログラム」（明日への扉を今開こう！OPEN）を 15 回行った。京都市事業「京都市薬物依存症再発防止プログラム」（KEEP）への講師派遣は、11 回行った。さらに、施設内研修を 13 回行った。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)	
⑥ 障害者総合支援法に基づいた障害者福祉サービス事業	① 薬物依存症回復支援施設の運営事業	共同生活援助(介護サービス包括型)ネクサス1・2運営	365日	ネクサス1・2	7	(平均)9.8名/日	32,547
	③ 薬物依存症者への生活支援事業	ネクサス3運営		ネクサス3	3	(平均)4.5名/日	
	① 薬物依存症回復支援施設の運営事業 ③ 薬物依存症者への生活支援事業	自立訓練(生活訓練)事業 デイセンター・マハロ運営 ミーティング、レクリエーション、昼食作りなどのプログラム	月～土 9:30～ 17:00 314日	テイセンター・マハロ	6	(平均)13.5名/日	24,246
④ 薬物依存症・薬物乱用に関する知識・情報の普及啓発事業	書籍販売	随時	京都DARC	2	薬物依存症者とその家族・関係機関職員等	0	
② 薬物依存症者及びその家族への相談援助事業	薬物依存症者相談	随時	京都DARC	7	46件/年	1,583	
	家族・関係者相談	随時	京都DARC	8	35件/年 薬物依存症者家族 15件/年 関係者		

ホットライン 相談	随時	京都DARC	7	16件/年 薬物依存症 者 6件/年 薬物依存症 者家族 5件/年 関係者
インターベン ションプログ ラム	随時	各拘置所・留置 施設	7	30件/年
家族プログラ ム	10回/年	京都DARC	1	(平均) 7.5名/回 薬物依存症 者家族
家族カウンセ リング	随時	京都DARC	1	43件/年 (64.5時 間)
京都府北部薬 物依存症者に 対する移動相 談	11回/年	舞鶴医療セン ター	5	(平均) 3.8名/回 薬物依存症 者・関係機関 職員等
刑務所等にお ける薬物離脱 教育指導講師 派遣	43回/年	各刑務所・拘置 所	5	薬物依存症 者
更生保護施設 盟親健 康学習会講師 派遣	4回/年	更生保護施設 盟親	1	(平均) 8名/回

	OPEN「若年者向け薬物乱用防止プログラム」講師派遣	15回/年	龍谷大学矯正・保護総合センター	2	(平均) 3名/回
	KEEP「京都市薬物依存症再発防止プログラム」講師派遣	11回/年	京都市こころの健康増進センター	2	薬物依存症者
	「薬物再乱用防止プログラム」講師派遣	16回/年	京都保護観察所	2	薬物依存症者
④薬物依存症・薬物乱用に関する知識・情報の普及啓発事業	ニュースレター発行	6回/年	京都DARC	4	1300部/回
	フォーラム開催	0回/年	京都府内	0	0
	出張フォーラム開催	0回/年	京都府内	0	0
	各種研修会等講師派遣(関係者・PTA・福祉等)	1回/年	全国	6	100名/回
	学校・高校・大学への講師派遣	3回/年	関西圏各学校	6	中学・高校・大学の生徒教員及び保護者等約150名/回
	他機関との協力・連携(市こころの健康増進センター・府精神保健福祉総合センター)	5回/年	府・市のセンター	4	薬物依存症者、関係機関職員
⑤薬物依存者	喫茶店等での	6回/年	バザールカフェ	2	(平均)

の社会復帰促進事業	ボランティア		エ		3名/回
	地域でのボランティア	13回/年	京都市	7	利用者
	就労相談	随時	京都DARC	6	利用者
	研修会参加	11回/年	全国	7	利用者
	農作業体験	5回/年	亀岡市	4	(平均) 7名/回
		17回/年	綴喜郡井手町	4	(平均) 8.6名/回
⑦その他この法人の目的を達成するために必要な事業	施設内研修	13回/年	京都DARC	3	(平均) 7名/回 職員、関係者
	施設外研修	4回/年	全国	7	(平均) 2.5名/回 職員、関係者

(2) その他の事業
実施予定なし。